



ただの神社めぐり①

葛西神社 (かさいじんじや)



今年は「巳」年。突如始まった”ただの神社めぐり”第1回目は、へびにゆかりのある場所からスタートしたいと思います。

「葛西神社」は平安時代末期の元暦2年(1185)に創建された歴史ある神社です。こちらには“撫で牛”ならぬ、“撫で蛇”が鎮座されています。その正体は厳島大神(市杵嶋姫)のお使いである白蛇(しるへび)の精。撫でることで、美容や金運財運のご利益を授かることができます。ちなみにどんな表情に見えますか? 見えた表情でそのときの自分自身が抱える気持ちを映し、深層心理が読み取れるそう。ぜひ実際の撫で蛇様をご覧になってみてください。

ちなみに御朱印もとても素敵です。



詳しい情報はこちら



住所: 〒125-0041 東京都葛飾区東金町 6-10-5
受付時間: 9:00 ~ 17:00
TEL: 03-3607-4560
JR 常磐線・京成線「金町駅」 徒歩 10分

月刊フットマーク



2025年1月31日(金) 第79号

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。



おかげさまで、弊社は本年、創業80周年を迎えます。

また昨年は水泳帽子発売を開始して55年、「介護」という言葉を商標登録して40年目の節目の年でもありました。

弊社の歩みを振り返りますと、水泳帽子誕生の背景には、会社の危機を乗り越える挑戦がありました。さまざまな要因で夏の売上が停滞してしまった当時の主力商品「赤ちゃんのおむつカバー」。その素材と縫製技術を生かし新たな挑戦として水泳帽子の開発に取り組みました。お客様の声が開発のヒントになったことは言うまでもありません。

この55年の歴史に改めて感謝の意を表するとともに、これからも皆様とともに歩み続けたいと願っております。

2025年は、政治や経済、少子高齢化といった社会変化が重なり、厳しい局面が続く年になると予想されます。だからこそ私たちは「1分の1(いちぶんのいち)の視点」を大切に、お客様一人ひとりに寄り添うものづくりを徹底してまいります。

また、水泳・介護を柱としながら、新たな挑戦を社員一丸となって進めていきます。

「新しいフットマーク」「ワクワクするフットマーク」「おもしろいフットマーク」をめざし、さらなる成長を追求してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。

フットマーク株式会社 代表取締役社長 三瓶 芳

インナーブランディング活動だより vol.6

今年も毎年恒例の「納会」を行いました。その年の最終出社日に「今年の10大ニュース」の発表をしています。社内で起きた今年の出来事について、各自が5票ずつ投票しニュースを決めました。

ここ何年かインナーブランディングプロジェクトによる寸劇が続いておりましたが、今年は久々にノーマルな司会進行で行いました。一年を振り返ると次の年への希望もあふれてきますね。

2025年も明るいニュースが生まれることを期待しています。



編集後記

先日初めて寄席に行きました。そのなかで妙に納得したのは、ある落語家さんが神様に5円や10円程度で今年の願いを叶えてもらおうなんて虫が良すぎるという話。今年の初詣ではいつもより多くお賽銭を納めお祈りしてきました。さて今回より突如はじまった新コーナー「ただの神社めぐり」。個人的な趣味全開ですが今後さまざまな神社やお寺をご紹介します。一定数ご興味のある方もいらっしやるかと願い…(吉河)

フットマーク株式会社

東京都墨田区緑 2-7-12
広報部

webmaster@footmark.co.jp

2024 フットマーク 10大ニュース



フットマークの2024年を振り返ってみました。新しい取り組み、新しい商品、新しい人との出会い。様々なことがありました。2024年に蒔いた種を2025年に咲かせるべく、そして新たな種を蒔くべく、今年も日々奮闘して参ります。

1 新しい社員の入社

フットマークに入社し約10か月が経ちました。時間が過ぎる速さに驚いています。社会人として何もわからない私に社員の皆様が親身に業務を教えてくださいと感謝しています。引き続きよろしくお願いたします。(2024年入社/スポーツ事業部第2部)

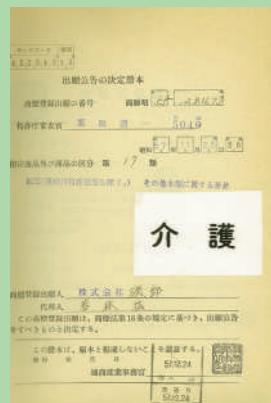


2 日経トレンドィ 2024年 ヒット商品ランクイン

昨年のヒット予測商品に続き、ヒット商品ベスト30にも選出いただきました。これまで世の中になかった布製ランドセルがようやく浸透してきて嬉しく思います。日経トレンドィの発表会ではあのちゃんにも背負っていただきました。(ラクサックジュニア担当)



3 「介護」 商標登録から40年



「介護」という言葉が商標登録されてから、40年経ちました。新規の販売先様との商談で、「介護は弊社が作った言葉です。」というと、多くの方に驚かれます。これからも「介護」が更なる「快互(介護する人される人がお互いに快いこと)」になるよう歩み続けます。(健康快互事業部)

4 新商品発売



2024年発売の主な新商品をご紹介します
 中高生向けの通学カバン「ラクサック グロウ」
 アウトドアブランド LOGOS とのコラボ「ラクサックジュニア」
 訪問介護スタッフ向けのバッグ「トート・リュック プラス」
 小中学生を熱中症から守る「遮熱通学帽子」
 プールなど水中で使える「水中サポーター(腰用)」

5 スポーツ事業部 第2部と第3部合同展示会

この合同展示会では Nike Swim や柄水着、企画中の新商品を展示。多くの方にご来場いただき、商品へのご意見も伺うことができました。ノベルティのミニラウンド(ロンセラー水泳バッグ)も「懐かしい!」と好評でした。(スポーツ事業部第2部企画担当)



ノベルティの元になった「ラウンド」

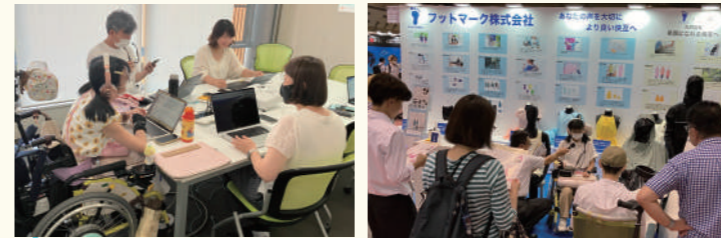
6 ラクサックジュニア メディア向けイベント



「布製ランドセル」の認知度向上のため、メディアを集め今時のランドセル事情を白土先生とお伝えするイベントを開催。結果、モノマガジンや多数メディアに掲載され、日経トレンドィのヒット商品賞にも選出。PRの重要性を痛感しました。(学校教育事業部企画担当)



7 インターンの大学生 牧野さんとの共同開発



車いすユーザーの牧野さんと、彼女の日常生活におけるの困り事を解決するための商品開発を一緒に行いました。彼女と同じ気持ちを持っている人が、少しでも快適に生活出来るように1人でも多くの方に、開発したこの商品を届けたいです。(健康快互事業部営業担当)

8 THE WORLDFOLIO 掲載

海外メディア「THE WORLDFOLIO」にて、健康に関わる日本の老舗企業の中の1つとしてフットマークを取り上げていただきました。取材を受け、フットマークの歴史～最新の事業までをお話しました。記事はQRコードよりご覧ください。



9 全社の取り組み「研究会」から 「メンズスポーツブラ」誕生



メンズスポーツブラ?全社員の前でプレゼンをした日、みんなの頭の上に??の文字が浮かんでいました。でも僕にはこのプロジェクトの成功のシーンが頭に確かに描かれていました。会長のコトバ「一人の人が欲しいものは百人は同じように欲しい人がいる。」というように考え、大学の友人からの「ランニングする時のトップのストレスを解消する商品作れない?」という話からこのプロジェクトはスタートしました。(商品考案者)

10 避難訓練実施

久々の避難訓練でしたが、事前の役割分担が決まっていたので、うまくいったのではないかと感じています。南海トラフ地震の発生率が70%から80%に引き上げられたこともあり、次回3/10はもっと緊張感を持って避難訓練を行いたいと思います。(社内 防火管理者)

